

# 新潟県における総合型クラブ育成施策について

平成28年7月15日（金）

総合型地域スポーツクラブの在り方に関する検討会議

新潟県県民生活・環境部

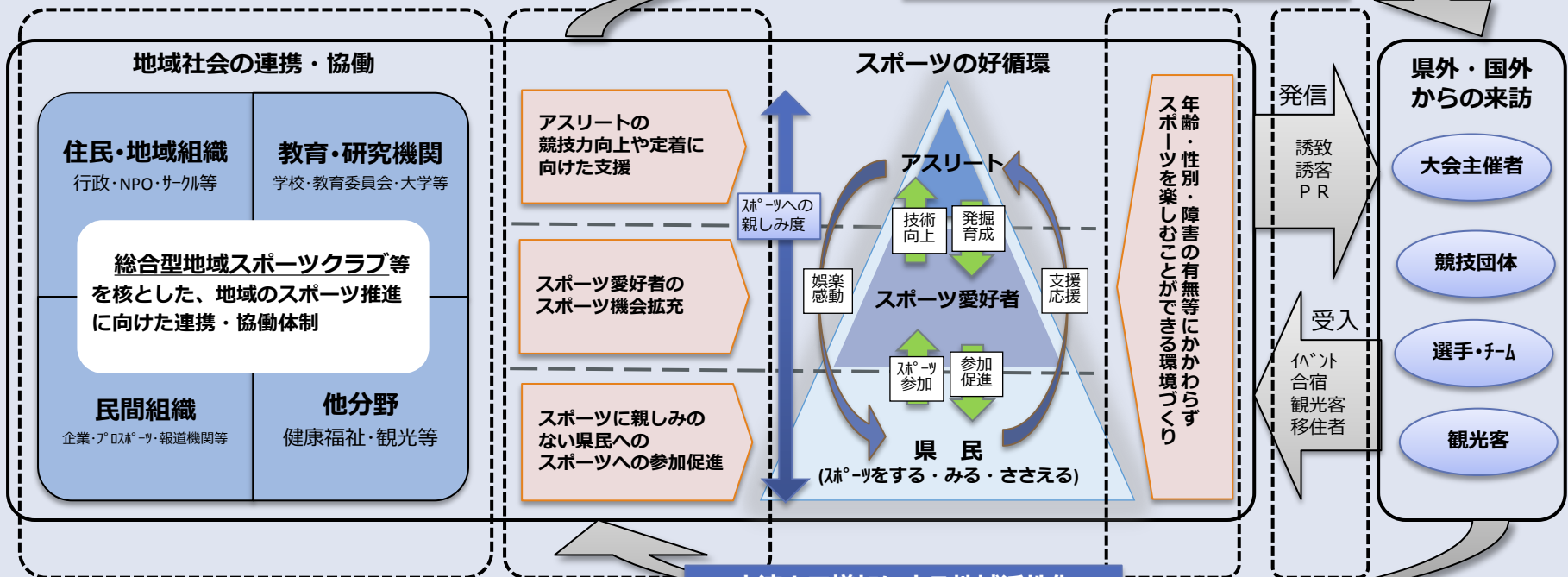
県民スポーツ課 主任 岡村 誠

# 【ビジョン】 県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会

実現

## 【目標】 スポーツ振興と地域活性化の好循環の創出

スポーツ振興による地域の魅力向上



### <施策の柱1>

地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくり

### <施策の柱2>

本県競技力向上と県民のスポーツへの親しみ度に応じた施策の推進

### <施策の柱3>

年齢・性別・障害の有無等に応じた施策の推進

### <施策の柱4>

地域資源を活用した受入体制づくりと新潟県のスポーツの魅力発信

地域の連携・協働による新潟の資源を活かしたスポーツ施策の推進

スポーツの活用

【本県の課題】 少子高齢社会における社会の活力や地域機能の維持

【スポーツ環境の変化】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、スポーツ基本法の制定 等

# 総合型クラブ育成の課題

◆ 育成・支援すべき総合型クラブの明確化

◆ クラブの自主財源の確保

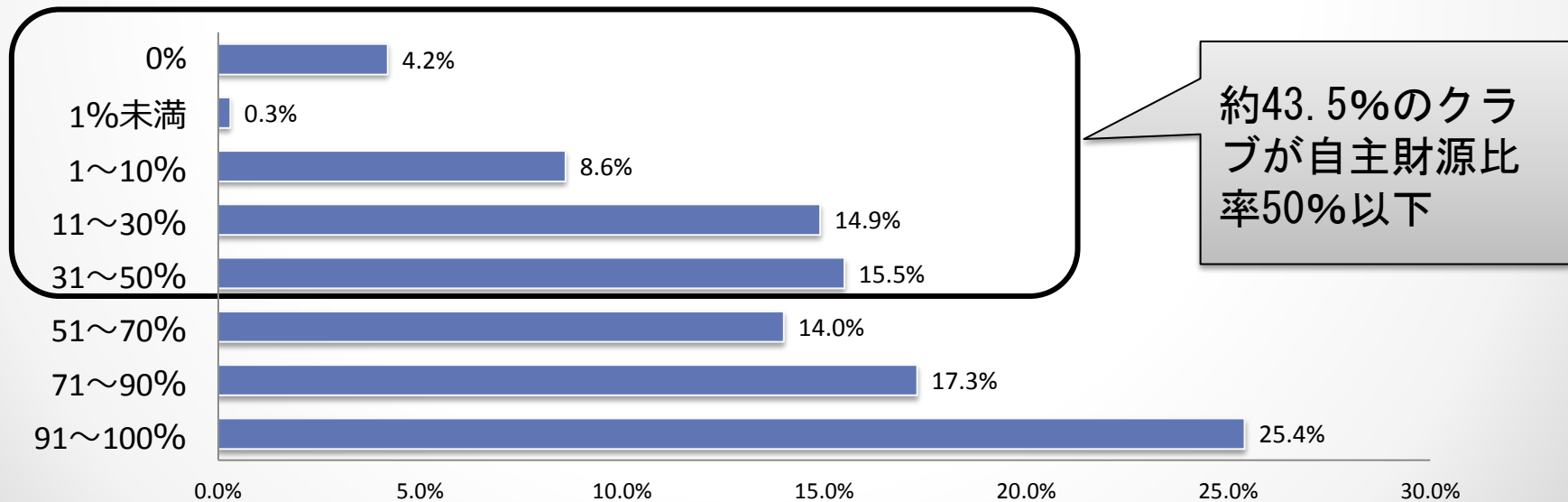
(住民の受益者負担意識が低いため、会費・事業費収入の確保が困難)

◆ 人材（マネジメント・指導）の確保

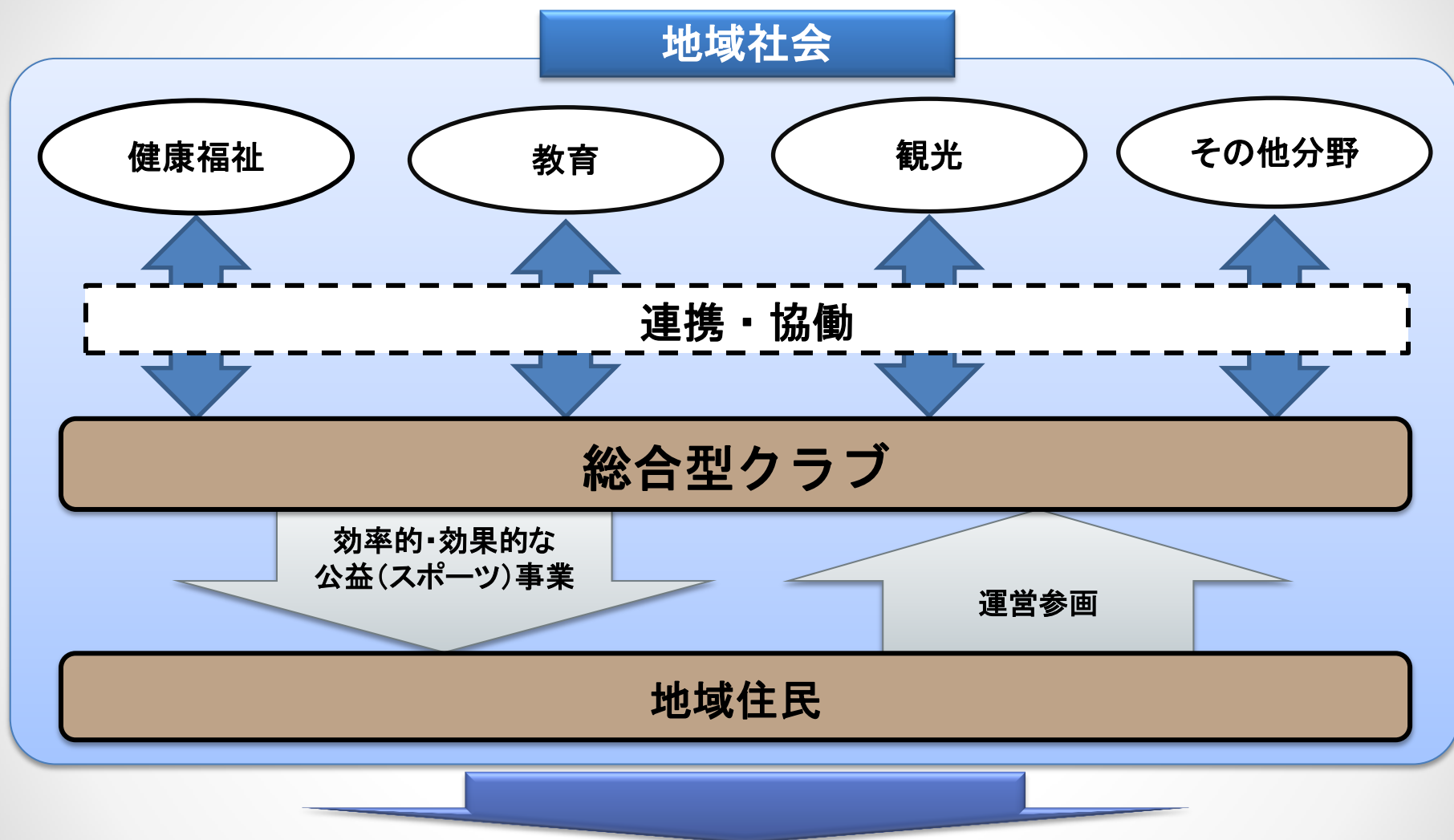
◆ 会員数の確保

◆ 地域における理解・認知度の向上

全国の総合型地域スポーツクラブの自己財源（会費・事業費・委託費）率



# 新潟県における総合型クラブ育成方針



- 総合型クラブの自立（財源確保等）と地域における理解・認知度の向上
- 効率的かつ効果的な公益事業による地域課題の解決

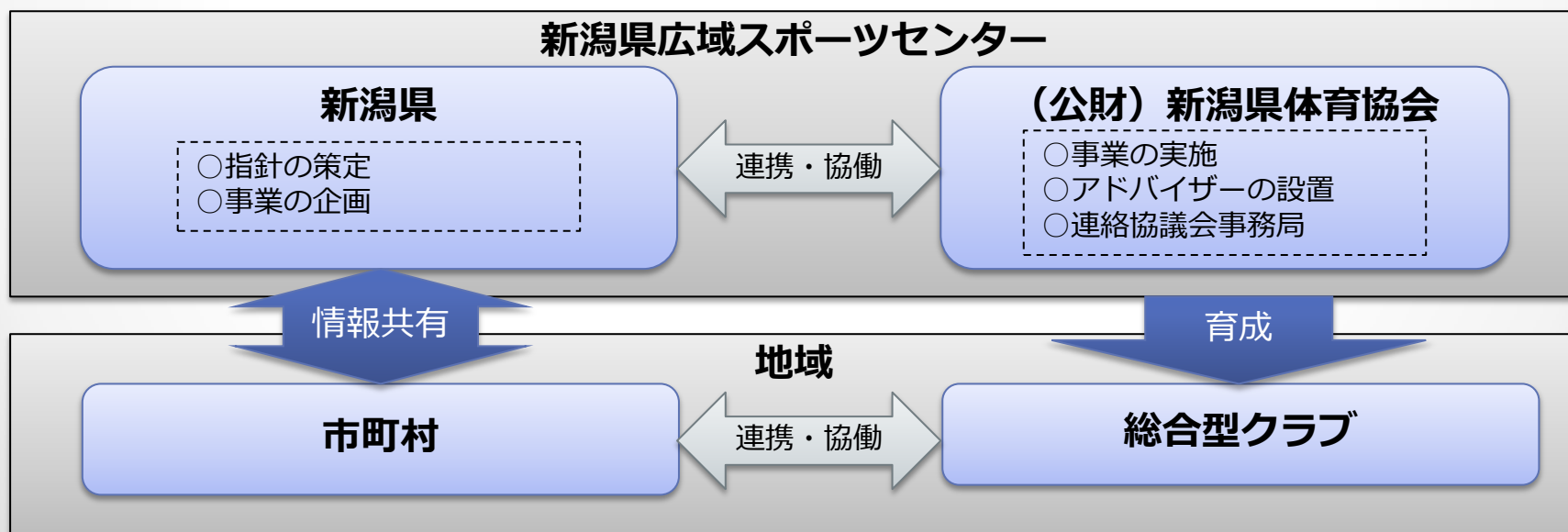
# 新潟県の総合型クラブ育成体制

## 新潟県広域スポーツセンター機能創設（H22～）

（公財）新潟県体育協会に生涯スポーツ推進事業を委託し、県と県体協が連携・協働して事業を実施。

### <生涯スポーツ推進事業（予算16,010千円／年）>

- 総合型クラブ協働モデル事業（H24～25）
  - 〃 協働促進事業（H26）
  - 〃 協働展開事業（H27～）
- 市町村・総合型クラブ実務担当者合同研修会
- その他（ホームページ運営、マネジメントセミナー、マネジャー養成講習）



関係者間（広域SC、市町村、総合型クラブ）の課題共有が重要

# 新潟県の総合型クラブ育成体制

## 市町村・総合型クラブ実務担当者合同研修会

- 従来、市町村担当者会議と総合型クラブ研修会は、別々に開催
- 総合型クラブ連絡協議会からの提案により、平成23年度から合同で研修会を開催

### 【内容】

- 基調講演  
【テーマ】
  - H28：スポーツ推進委員との連携・協働
  - H27：総合型クラブと他分野との協働による地域活性化
  - H26：行政とクラブの協働～福祉・健康分野における総合型クラブの可能性～
- グループディスカッション  
総合型クラブと市町村が、それぞれの視点からテーマに沿った意見交換を実施

### 【成果】

- 関係者間（総合型クラブ、市町村、県、県体育協会）において、顔の見えるの関係が構築され、課題の共有が図られた。  
⇒ クラブの課題解決に向けた体制強化

# 新潟県総合型地域スポーツクラブの指針

## ◆指針策定の背景・きっかけ（H25年度）

### 【背景】

- ① 法令等による総合型クラブの明確な位置づけがされていない
- ② 従来は、行政主導で設立されたクラブを総合型クラブとして扱っていたが、設立過程や形態が多様化し、クラブの状況把握が困難
- ③ 総合型クラブ運営において様々な課題が顕在化

### 【きっかけ】

- ① 総合型クラブと称する単一種目クラブや、営利企業等が支援を求めてきた。
- ② 市町村等のスポーツ関係者において、総合型クラブの役割や目指すべき方向が分からないとの意見があった。
- ③ クラブの育成施策の立案に向け、クラブの状況を適切に把握する必要があった。



- 育成すべき総合型クラブの明確化
- クラブの目指すべき方向・役割の明確化
- クラブの状況把握

# 新潟県総合型地域スポーツクラブの指針

## ◆新潟県総合型地域スポーツクラブの指針（H27年4月16日策定）

### 【指針】

- ① 明朗なクラブ運営（規約等に基づく透明性のある運営）
- ② 地域に開かれたクラブ（地域住民への広報や会員の募集）
- ③ 多種目・多世代・多志向・定期的
- ④ 受益者負担（会費の徴収）
- ⑤ 指導者の確保
- ⑥ 活動拠点の確保
- ⑦ 地域住民の主体的な運営（公益目的・住民の意見がクラブに反映）

### 【自己診断シート】

指針に合致しているかどうか、各クラブが自己診断を実施

⇒指針に合致している場合、自発的に新潟県広域スポーツセンターに申出を行うことで、新潟県総合型クラブとなる。

### 【クラブ概要】

クラブの状況を見える化したものであり、申出に添付

⇒クラブ育成施策の立案や助言等のための参考資料として活用

## ◆新潟県総合型地域スポーツクラブになると？

総合型クラブ育成事業等の対象となる一方で、新潟県広域スポーツセンターと連携・協力して地域のスポーツ振興に取り組む責務を負う。



# 新潟県総合型地域スポーツクラブの指針策定

## ◆指針策定の経過①

### H26年4～6月

- 他県の事例調査（福岡県クラブ認証制度、秋田県クラブ認定登録制度）
- 新潟県広域スポーツセンター内（県・県体協）での方針決定

### H26年8月4日（新潟県総合型クラブ連絡協議会運営委員会）

- 県として、総合型クラブの指針を策定したい旨を説明  
（主な意見等）
  - ・ 指針策定には異論なし。
  - ・ 指針に合致していることを確認する仕組みが必要（⇒裏付け書類の添付）
  - ・ 連絡協議会加入要件も指針に合わせたい。
  - ・ 指針や協議会加入要件に合致しない場合、加入の意向があるクラブをサポートする体制が必要

### H27年2月2日

- 県連絡協議会3役（会長、副会長）に、指針の素案について意見聴取  
（主な意見等）
  - ・ 申出の際には、クラブの中長期的なビジョンを示してもらうことで、クラブにとっても振り返る良い機会になる。
  - ・ クラブ運営には住民のボランティアが必須。クラブ概要に盛り込むべき。
  - ・ 自発的な行為を意味する「申出」という表現は適切である。クラブをふるいにかける制度と勘違いされないよう、行政とクラブに対して十分な趣旨説明をすべき。

# 新潟県総合型地域スポーツクラブの指針策定

## ◆指針策定の経過②

H27年3月9日

- 県連絡協議会運営委員会で素案について意見聴取  
(主な意見等)
  - ・内容については賛同。
  - ・書面ではなく説明会を開催するなど、丁寧な説明が必要。

H27年4月20日

- 行政及び県連絡協議会に対し、指針の説明会を開催  
(主な意見等)
    - ・実質、クラブをふるいにかける制度のように思われる。
    - ・行政がクラブを管理することが制度の目的であり、これ以上クラブに負担をかけるようであれば、申出は辞退する。
- ⇒ 意見等があったクラブに対し、個別に説明し、了解を得た。

### 【結果】

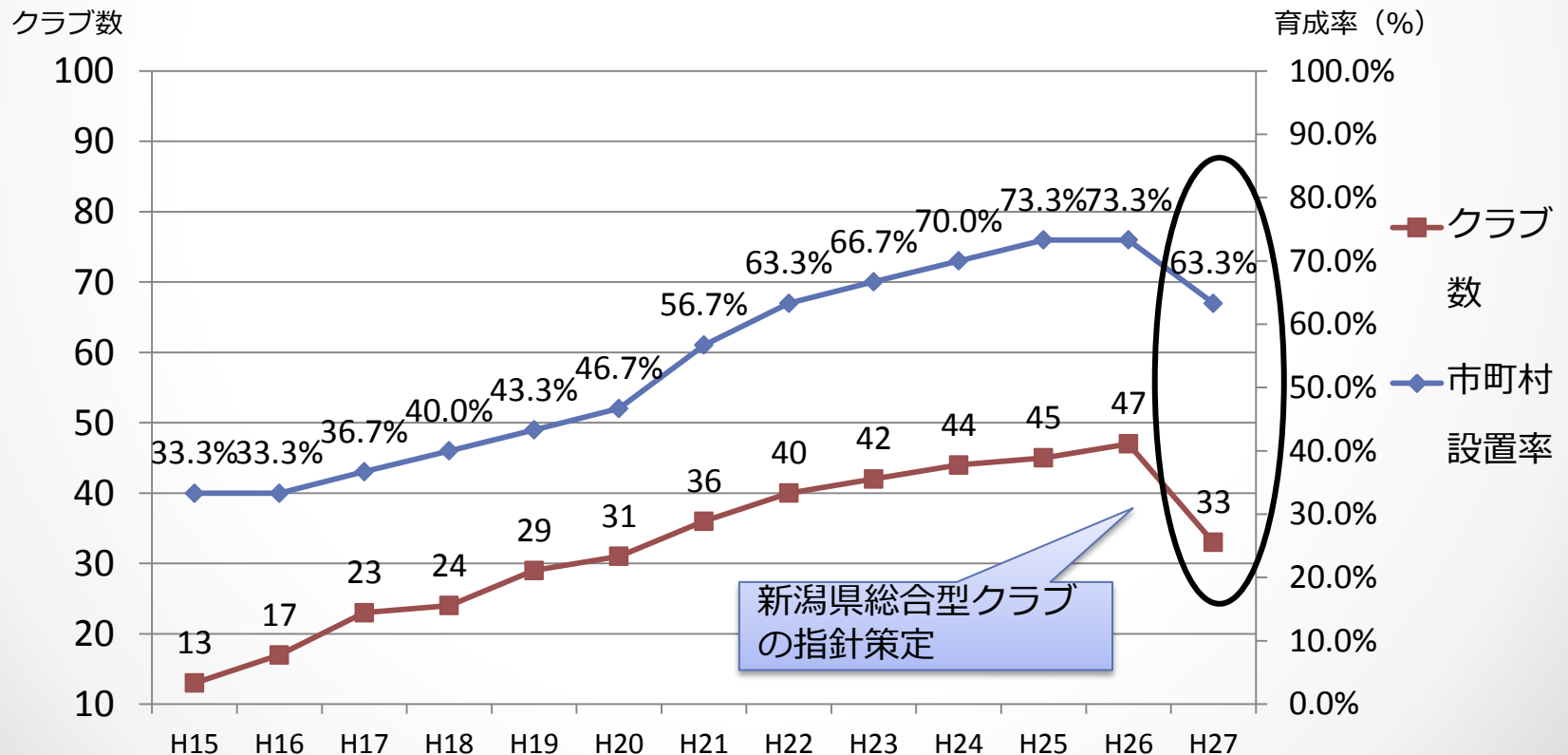
- 当時、県連絡協議会に加入していた33クラブ全てが申出を行った。
- これまで総合型クラブとして取り扱っていたが、定期的な活動実態がない12クラブ（県連絡協議会未加入）は、申出を辞退。

# 新潟県の総合型クラブ育成状況

## 県内の新潟県総合型クラブ数

- 平成27年7月1日現在で33クラブが申出済み  
育成率：63.3%（30市町村のうち19市町）

新潟県における総合型地域スポーツクラブの育成状況推移（H15～27）



# 新潟県の総合型クラブ育成事業

## 総合型クラブ協働モデル事業（H24～25）

医療・健康福祉分野と協働して、住民の健康増進やスポーツ振興に取り組むクラブを育成

## 総合型クラブ協働促進事業（H26）

- 医療・健康福祉分野との協働のノウハウを全県に普及・拡大させるための研修を実施
- 協働相手となる市町村等（健康福祉部局）に対し、協働モデル事業の成果をPR

## 総合型クラブ経営力強化事業（H26）

協働促進事業の研修の受講や、医療・健康福祉分野と協働するために必要となる資格（健康運動指導士等）取得を支援

## 総合型クラブ協働展開事業（H27～）

- 医療・健康福祉分野以外に、協働事業を展開
- H27～28はモデル事業、H29は取組の普及・拡大に向けた人材育成

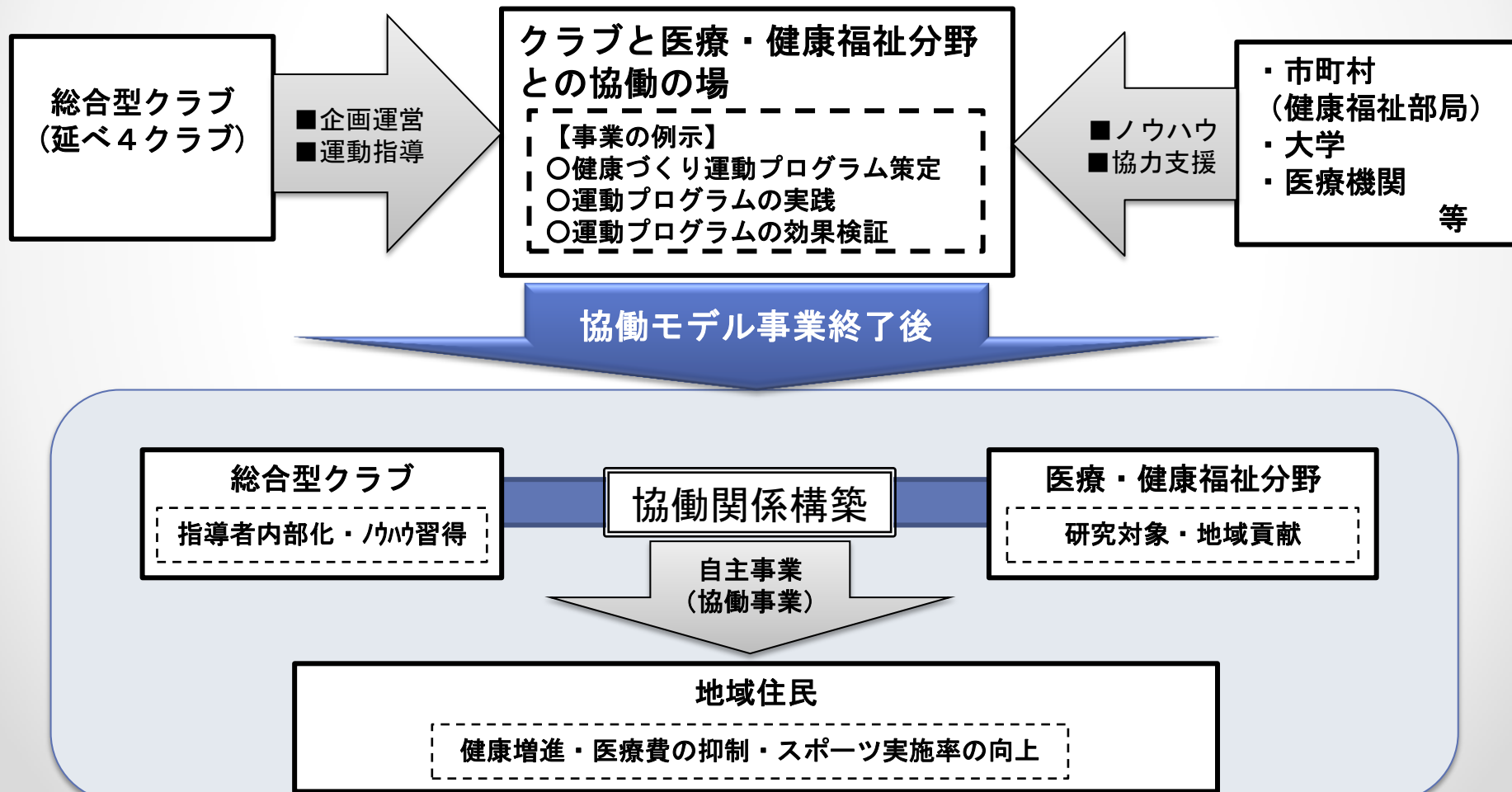
モデル育成 ⇒ 効果検証 ⇒ 全県への普及 ⇒ 他分野展開

# 総合型クラブ協働モデル事業 (H24~25)

## 事業概要

予算：2,400千円／年（1クラブ800千円／年）

内容：総合型クラブと医療・健康福祉分野との協働のベースづくりを支援



# 総合型クラブ協働モデル事業の事例

## モデルクラブ

NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブとらい夢(新発田市)

## 協働機関

機関名	連携・協働内容
新潟医療福祉大学	○運動プログラムの作成 ○指導者向けの研修 ○学生による教室指導や運営補助
新発田市 健康推進課・高齢福祉課	○健康づくり教室、高齢者介護予防教室の開催協力
新発田市 地区公民館	○事業の周知・参加者募集等への協力

## 内容

- ①健康マシントレーニングプログラム、高齢者介護予防プログラムの作成
- ②運動プログラムの実践
  - ・新発田市高齢者介護予防事業
  - ・健康づくり事業
- ③体力測定・体験会の開催
- ④トレーニング相談会の開催
- ⑤講習会の開催

## 成果

- 新発田市高齢者介護予防事業の受託(H26～) ⇒ 委託収入の増加(自主財源確保)

# 介護予防教室の様子



# 総合型クラブ協働促進事業 (H26)

## 総合型クラブ協働モデル事業の検証

### 【協働モデル事業の成果】

- 科学的根拠に基づく健康運動プログラムが確立され、クラブ事業の充実につながった。
- 行政（医療・健康福祉部門）からの事業委託の増加につながった。
- ⇒ クラブと医療・健康福祉部門との協働がクラブの自立（運営財源確保等）に効果的であった。

### 【普及・拡大に向けた課題】

- 各クラブにおいて健康・医療分野と協働した事業を企画・運営できる人材の育成
- 地域（主に医療・健康福祉分野）のクラブに対する認知・理解の向上

## 総合型クラブ協働促進事業

### 事業概要

予算：2,090千円

- 内容：①クラブ運営を行う職員を対象とした協働事業の現場実践研修の実施  
②地域の医療・健康福祉部門を対象とした協働モデル事業成果発表会の開催  
③協働モデル事業事例集の作成・配布

### 広域SC

研修実施委託

協働モデル事業成果発表会  
協働モデル事業事例集配布

#### 協働事業実施クラブ

○協働事業実践研修実施

ノウハウ  
伝達

#### 総合型クラブ

協働

#### 医療・健康福祉分野

協働事業の全県への普及・拡大



# 総合型クラブ協働促進事業の事例紹介

## 実践研修委託機関

上越地区：NPO法人さんわスポーツクラブ（上越市）

中越地区：NPO法人エンジョイスportsクラブ魚沼（魚沼市）

下越地区：NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブとらい夢（新発田市）

## 研修事例：NPO法人エンジョイスportsクラブ魚沼

研修参加クラブ数：7クラブ

回	場所	研修内容	講師・指導者等
1	堀之内体育館ミーティングルーム	・研修の趣旨説明 ・行政との関係づくりに関する講義 等	高木 アドバイザー
2	小出郷福祉センター研修室	・筋力向上トレーニング教室見学 ・講義 「運動と栄養」 「スポーツによる健康づくりと介護予防概論」	星 健康運動指導士 上村 医師（理事長） 鈴木 管理栄養士（保健所）
3	堀之内体育館トレーニングルーム	・講義 「行政からみた協働事業」 ・運動プログラム実践	星 元魚沼市生涯学習課長 星 健康運動指導士
4	堀之内体育館ミーティングルーム	・講義 「事業提案書の作り方」 「エビデンスによる事業裏付けとデータ分析」	高木アドバイザー 星 健康運動指導士
5	〃	・介護予防教室体力測定会体験 ・ワーク 「協働提案書づくりの実際」	上村 医師（理事長） 星 健康運動指導士
6	〃	・行政への提案書発表会	高木アドバイザー

# 総合型クラブ協働促進事業の事例紹介

## 協働モデル事業成果発表会

### 【上越地区】

場 所：上越市教育プラザ（上越市）

日 時：H26年10月8日

参加者：21名（総合型クラブ、市町村健康福祉部局、市町村スポーツ担当部局、保健所）

内 容：事例紹介：①NPO法人さんわスポーツクラブ（協働モデル事業実施）

②NPO法人エンジョイスportsクラブ魚沼

講 演：新潟大学教育学部保健体育・スポーツ科学部 篠田教授（協働機関）

### 【中越地区】

場 所：小出郷福祉センター（魚沼市）

日 時：H26年9月30日

参加者：30名（総合型クラブ、市町村健康福祉部局、市町村スポーツ担当部局、保健所）

内 容：事例紹介：①こいこいスポーツクラブおぢや（協働モデル事業実施）

②魚沼市福祉課介護福祉室高齢福祉係（協働機関）

③NPO法人エンジョイスportsクラブ魚沼

講 演：上村医院 上村院長（NPO法人エンジョイスportsクラブ魚沼理事長）

### 【下越地区】

場 所：新潟県自治会館（新潟市）

日 時：H26年10月6日

参加者：35名（総合型クラブ、市町村健康福祉部局、市町村スポーツ担当部局、保健所）

内 容：事例紹介：①NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブとらい夢（協働モデル事業）

②NPO法人エンジョイスportsクラブ魚沼

講 演：新潟医療福祉大学 佐藤講師（協働機関）

# 総合型クラブ経営力強化事業 (H26)

## 総合型クラブの経営課題

- 協働事業の実施に必要な人材の育成（協働のノウハウ習得、資格の取得）
- 職員の処遇の改善による人材の定着

## 新潟県総合型地域スポーツクラブ経営力強化事業

新潟県



人材育成を委託  
（@350千円×11クラブ）

総合型クラブ

職員



育成（研修受講）



職員のスキルアップ  
（ノウハウ・資格取得等）

事業拡大

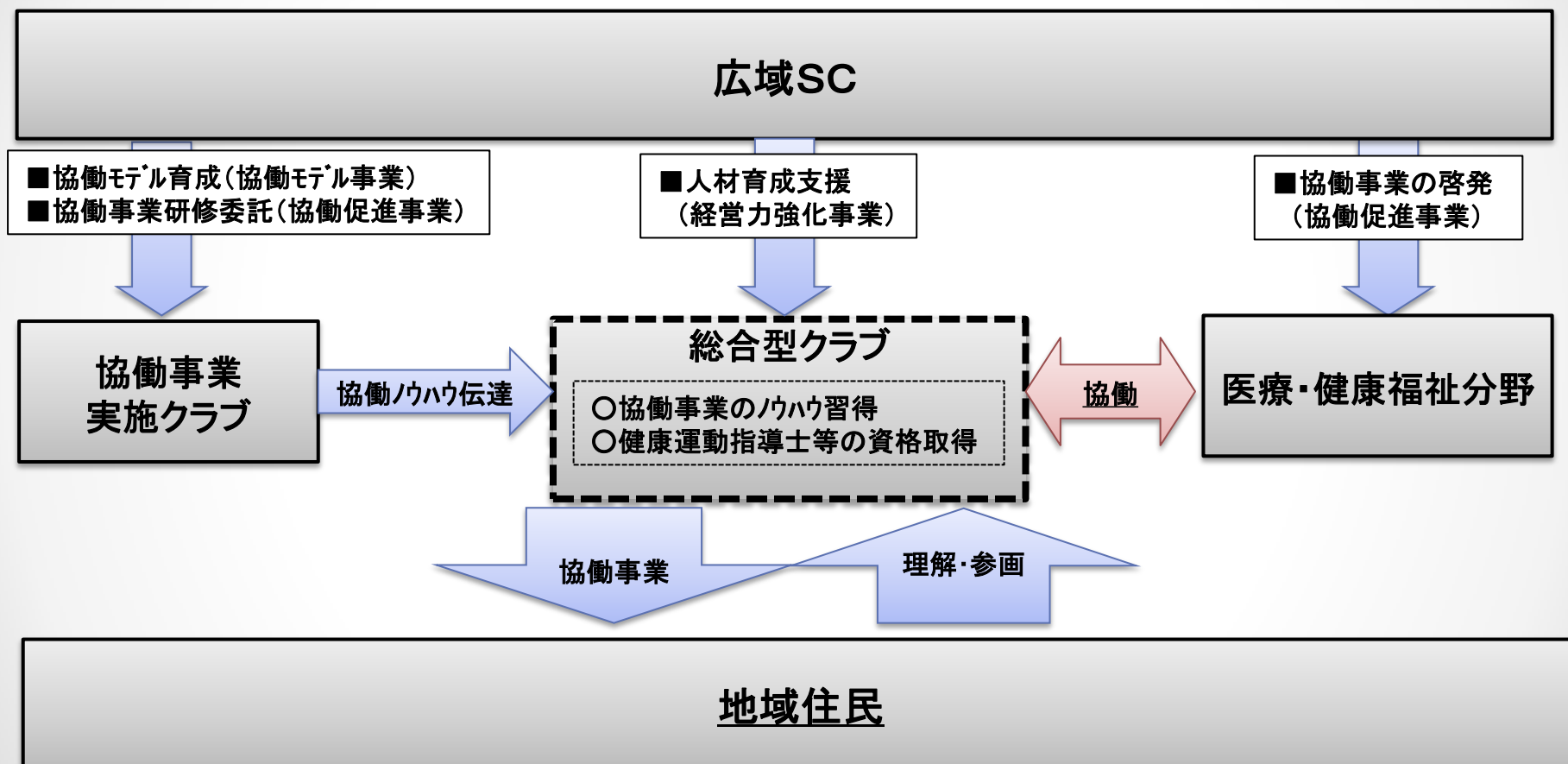
- 協働促進事業研修の受講
- 健康運動指導士等資格講習の受講

### ■職員の処遇改善

- 月額給与5%増
- 賞与10%増

など

# 総合型クラブ関連事業体系図 (H24~26)



# 総合型クラブ育成事業の成果（～H26）

## 【事業成果】

### ○ 自主財源の確保

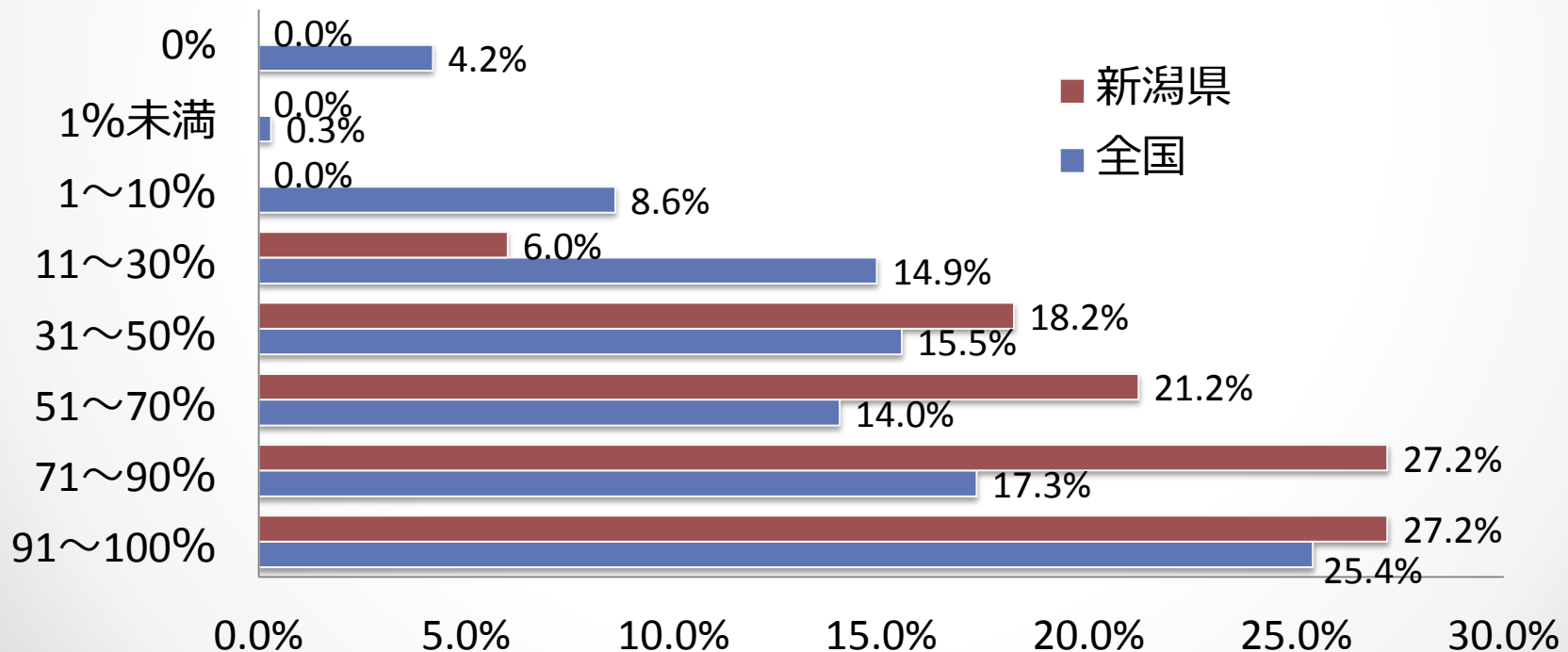
5クラブで市町村健康福祉部局から健康づくりや介護予防事業を受託

⇒委託事業収入が増加

### ○ 職員の処遇改善

8クラブで職員の賃金アップ

## 自己財源（会費・事業費・委託費）率



# 総合型クラブ協働展開事業（H27～）

## 取組事例

### ○ NPO法人希楽々（村上市）

#### 【内容】

- ・地域の複数の中学校が合同で、それぞれの中学校にはない種目（女子バスケ・男女サッカー）を対象とした合同部活動（新しいカタチの部活動）を実施。
- ・会場となる神林総合体育館までは、クラブが所有するバスで生徒を送迎している。
- ・学校からは部活動に準ずる活動として承諾を得ている。

#### 【連携・協働先】

- ・中学校（2校）

### ○ NPO法人T a p（津南町）

#### 【内容】

- ・地域資源（雪）を生かしたスポーツ（ウインタースポーツ、雪遊び等）による地域活性化（スポーツツーリズム）の取組の仕組みづくり。

#### 【連携・協働先】

- ・観光協会、旅館組合、教育委員会、地元企業 他

### ○ 認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブとらい夢（新発田市）

#### 【内容】

- ・小学校低学年を対象とした、児童クラブでの運動教室を開催。
- ・夏、冬、春といった長期休暇時期に、小学校の施設を活用して実施。

#### 【連携・協働先】

- ・小学校（6校）、教育委員会、青少年健全育成センター 他

# NPO法人T a pの協働展開事業



# 総合型クラブ協働展開事業（H27～）

## 【成果】

- 地域の各組織との関係構築
- 様々な分野におけるクラブの新たな役割の確立

## 【課題】

- 中体連や市教育委員会との、部活動の考え方についての方針統一  
（NPO法人希楽々）
- 学校など、連携・協働先との責任の明確化  
（とらい夢）



**モデル事業終了後、成果（効果）を詳細に検証**



# まとめ

## クラブ育成に向けた県の役割

- 総合型クラブと地域の各組織が連携・協働し、地域の資源を活用しながら継続的に地域課題の解決（ソーシャルビジネス）に取り組むことができる仕組みづくり。

## 今後（H28～）の施策の方向性

### 総合型クラブを核としたスポーツ推進体制の構築

- ・ 総合型クラブを地域のスポーツ推進エンジンの核とした、地域の連携・協働体制を構築する。

### 企業と総合型クラブとの連携・協働促進

- ・ 新潟県スポーツ推進企業認定制度による企業の地域スポーツ推進活動への参画促進

### 地域スポーツの推進に向けた総合型クラブの積極的活用

- ・ 総合型クラブを活用し、県民が身近でスポーツに親しむことができる機会を創出する。（育成から活用へ）